

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	昭和29年度～	根拠法令・例規等	地方自治法第294条 三国地区財産区管理会条例
総合計画	大項目	基本構想	06	行政「計画推進」	
	中項目	基本計画	10	計画を実現する行政	吉永総合支所管理課
	小項目	施策	46	市有財産の有効活用と適正な管理	主任 野坂俊哉
事務事業名		10	三国地区財産区管理運営事業		電話 0869-85-0005 このシート作成に要した時間 7.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	三国地区民 約250名	
目的 (何のために)	三国地区財産区所有財産の管理	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	保育を計画的に実施することにより、森林の荒廃を防止し森林機能の維持を図る。	

事業の実績			Do
目的を達成するための実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	一般管理事業	◎植林、伐採、間伐等の管理行為等 ◎売買契約、請負契約の締結等 ◎収入、支出 決算に関すること等管理行為の審議のため管理会を開催する。そのための準備、会議 のとのめ等の財産区の管理を行なう。	
	財産区管理事業	◎財産区所有の土地の貸付け、立木等の収入金についての管理を行なう。 負担割合に応じ地元交付、及び一般会計に繰り出す。	
	植樹事業	◎財産区が独自に植林している造林地(自力造林)について、除間伐等の保育管理を 行なう。 事業費については、負担割合によって、地元負担金、一般会計から繰入。	
	林道維持修繕事業	◎財産区有林内の作業道修繕を行なう。	

決算額	事業費等	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	事業費	千円	1,757	1,146	1,466
	必要人員	人	0.20人	0.19人	0.10人
	事業費	千円	2,022	1,895	1,055
	事業費	千円	3,779	3,041	2,521
	国県支出金	千円			
受 益 者 負 担	千円	76		20	
繰 入 金	千円	37	17	23	
市 債	千円				
その他()	千円				
一 般 財 源	千円				
受 益 者 負 担 比 率	%	3,666	3,024	2,478	
	%	2.0%		0.8%	

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	結果指標量		6	3	2
	対前年比	%	-	50.0%	76.7%
	活動コスト	円	152,000	71,000	96,000
単位当たりコスト	円	25,333	23,667	41,739	

事業の成果						(平成25年度事業)
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
財産区自力造林の保育等の施業面積	目標値(A)	5	5	5	5	2
	実績値(B)	6.4	3	2.3	到達目標値	
	達成率(B/A)	128.00%	60.00%	46.00%		2
成果指標設定の考え方・式や説明						
財産区自力造林の保育等の施業面積を把握するため、毎年の施業面積の比較						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の 妥 当 性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
効率性の評価	コ ス ト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度 市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

進行年度 (H26年度) の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	森林を健全に維持するために計画的に保育管理する必要があるが、事業費、地元の負担を減少するため、県補助事業等を活用する。公園造林については、造林業者を備前市森林組合とし、健全な保育管理を行なう。						

総合評価		Action
森林の荒廃を防止するために、毎年計画的な保育管理等を行なう必要があるが、地元負担金が発生する事業については、地元と協議する。また、県等の補助を活用しながら、保育管理を行なう。	総合評価	B

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	森林の荒廃を防止するために、毎年計画的な保育管理等を行なう必要があるが、地元の負担等も考え、国、県等の補助を活用しながら、地元と協議し行なう。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな